

自己評価・外部評価 2022

グループホームひまわり

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者は住み慣れた地域でこれまでの生活の延長線にある生活が送られ、楽しみや本人の経験を活かした役割を持ち、意義ある生活を送れるように支援します。			理念を共有した上で、職員は実践を出来ているだろうか？ →グループホームというサービス特性を活かした個別支援をおこなっています。ベテラン職員が多く、理念を理解したサービス提供ができています。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の認知症介護拠点として、認知症介護について講座や学校の授業で伝えていきます。また SNS を使い発信しています。しかし、地域との日常的な交流については不十分です。	近所の利用者宅の庭の草刈りを通して住民との交流があり、また近くのお寺とも交流があるので、事業所、利用者は地域との交流は出来ているのではないかと。		施設長は地域で認知症講座や学校での授業の講師として活動しており、地域交流となっている。利用者は近くの喫茶店やスーパーへお出かけしています。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない E. ほとんどできていない	昨年、運営推進会議による評価をおこない多くのご意見を頂き、充実した評価をおこなえたと実感しています。特に BCP 策定については後押しを頂きました。	昨年の運営推進会議でも外部評価をおこない、たくさんの意見を出して頂きました。すべてを実行に移せたわけではないですが、活かすことが出来ました。		運営推進会議に参加するメンバーを増やせるといいのではないかと。駐在所の警察官、消防署員に参加の声をかけてみても良いのではないかと。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議、地域ケア会議での関わりをはじめ、介護保険法の改正や感染症対策等に於いて町の担当者とは顔の見える繋がりが出来ており、情報・意見交換をおこない協力関係が築けていると思っています。	施設長と役場職員とは忌憚のない意見交換をされており十分に関係性が築けているのではないかと		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の研修を実施し具体的な行為について全職員が理解をしています。やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、手順を踏み、定期的に検証をおこない廃止に向けて取り組んでいます。現在、身体拘束を		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修開催、委員会があり点検、検証をおこなっています。言葉による拘束(スピーチロック)には注意をしています。相手を制止させる言葉かけは拘束にあたる場合があります。

				おこなっているご利用者さまはいません。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と併せて虐待についての研修を定期的におこなっています。しかし、頭で理解していても言葉で抑制するケアがみられることがあります。常日頃、注意を払い個別に指導することがあります。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修をおこない不適切なケアがないかの点検をおこなっています。意図的ではなくても結果的に心理的な不快感を与えている可能性はあります。ケアに対する振り返りは必要です。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用しているご利用者様がおり、制度について職員は概ね理解をしています。必要となるケースがあれば制度活用に向けて関係者と協力しています			管理者が中心となって対応されていますが、管理者が異動などによりいなくなった場合、同じように対応できるのか。簡単な制度ではないので人材の育成が必要。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分な説明をおこない、理解・納得を図っています。疑問等には随時お答えしています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者さまの訴えに耳を傾けるように努めています。ケアプラン作成にはご利用者さまの意見・要望を反映したプラン作成をおこないケアに繋げています。ご家族様は面会時に要望等をお聞きする機会が多いです。手紙、電話、SNSも活用しています。しかし、本人と関係の薄い家族等もあり、ご要望等を聞きだせないこともあります。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話、手紙、SNSを活用しているのは良い。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に職員は意見・提案をおこなっており、実行が必要と思われる提案については検討し反映させています。			小規模施設の特性として管理者と職員の距離が近いので、意見や提案を伝え、反映しやすい環境にある。

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>個々の働き方に合わせた柔軟なシフト作成をおこない休日希望にはほぼ100%応えています。職員の配置に余裕を持たせ、急な休みにも対応しています。</p> <p>年2回の人事評価をおこない本人の取り組み、成果を確認しています。資格取得を支援します。</p>		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>最低賃金のアップ、介護報酬単価との兼ね合いで、評価して単純に給与を上げていくわけにはいかない面があります。ICT化により業務を合理化して職員数を減らす選択、合理化を求めずにマンパワーに頼るケア、時代の変化に合わせてつより良いサービス提供のための選択が求められます。</p> <p>柔軟なシフト体制により子育て世代の人でも働きやすい環境づくりに努めています。</p>
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>A. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>年計画の法人内研修を実施。また、本人の学びに合わせた研修参加の機会を提供しています。</p> <p>現場の中で一緒に学びつつ知識・技能アップを図っています。</p>		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>認知症介護基礎研修、喀痰吸引等研修の受講を推進しています。</p>
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>A. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>同業者の職員同士の交流はおこなわれていませんが、管理者は地域でこれまでおこなわれてきた研修会や会議などで他法人の管理者等との繋がりががあります。また、町外での活動もおこなっており、同業者との情報交換や活動を共にすることがあります。</p>			<p>同業者との交流を通じて培ってきた関係性から近隣の法人と災害時の相互協力協定を結ぶことが出来ています。</p>
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<p>A. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>暮らしの中で生活の意義を見つけられるように本人の能力・特性に合わせた役割が持てるように関わり、それぞれが分担して共に暮らす生活の場を築いています。</p> <p>役割の中には相手を気にかける、声をかけることも含まれています。そこには職員、利用者という立場は関係なく人としての繋がりがあと思っています。</p>			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別になりますが、馴染みの場所や自分が住んでいた家に行く、常連のお店に行く、地域行事に参加するなど繋がりを維持する支援をおこなっています	今年の夏は個別ケアになりますが、お墓参りや幼馴染みに会いに行く機会を作ることが出来ました。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分のペースで暮らしたい人、夜は寝たくない人、趣味の読書や花壇の手入れの時間を作りたい人などそれぞれの希望はあります。日課があり融通が難しいことが多いですが、希望に沿えるように努めています。			どこまで本人のご要望に応えられるかは、職員個々の思いや力量により左右されることがあります。利用者は職員のことをよく見ており、この人に言えば要望が通るなどの判断をされている場面があります。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向の確認、介護者から見た生活の様子、医師等からのアドバイスなどを取り入れたプラン作成を心掛けています。	多才な介護職員がおり、様々な意見やアイデアがケアに反映出来ているのではないかと	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子は介護記録書に記入。気になる点・申し送りが必要なことは毎日おこなうミーティングと申し送りノートで伝達しています。日々変わる状況にいち早く対応できるように取り組んでいます。職員の全体会議はおこないません。状況は頻繁に変わるため、その都度、伝達、検討した方が早い為です。小規模施設だからこそ出来ることだと思います。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	このくらいの職員数の規模であれば今の形で伝達等は十分に出来ていると思います。管理者が不在となった場合も同じようにまとめられるのか懸念はありますが、ベテラン職員などに役割分担が出来ているのであれば良いのではないかと。様々な場面があり判断が難しいことも多々あると思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	異変時の病院への移送・付き添いには柔軟な対応が出来ていると思います。また、生活保護の人など家族支援が薄い人に対する各種申請手続きなども代行しています。サービスの多機能化までには至りませんが、買い物への付き添い、	認知症デイやショートステイのサービスを始めるという選択肢はありますが、人員の問題、業務量増加、建物のスペース的な問題で開始に至っておりません。		グループホームだからこそ出来るサービス提供に努めていますが、このままのやり方で大丈夫なのか？多機能を求めるニーズがどの程度あるのかは気になるところです。

				自宅訪問、本人馴染みの関係者との交流支援などをおこなっています。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの場所やお店にお出かけして、本人の喜びや活気に繋がることはあります。しかし、個別的な支援なので、出来る人、出来ない人はいます。ふたつのお寺と交流があり、ひとつはお寺での行事に参加しています。もう一つは毎月、お説法に来て頂いています。	個々の身体機能や背景に違いがあるので、個別なサービス提供となることは当然ではないか。個々の状況に合わせたサービス提供が出来ているのであれば充分に出来ていると思われます。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居する際に「かかりつけ医」の確認をおこない、要望に沿う支援をおこなっています。また、必要に応じてかかりつけ医以外の眼科、皮膚科など地域のクリニックの受診支援をおこなうこともあります。			専門医の診断や治療が必要な場合は専門のクリニック等の受診支援をおこなっています。(皮膚科、眼科、整形外科など)
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急搬送される病院とは顔のわかる関係を築いています。入院された時は連携室とこまめに連絡を取り、早期退院ができるように連携をとっています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の病院とは顔の見える関係性があり、情報共有や要望を伝えることが出来ています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設以来、多くのお看取りに携わり経験を積み上げてきました。本人異変の気づきを医師に伝え、医師と家族を交えた話し合いをおこない、本人・家族が納得した終末期を過ごせる支援に努めています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変や事故発生時にどこに連絡し指示を受けるかの対応は徹底しています。心肺蘇生、AED訓練は定期的に消防署署員に指導・立ち合いをお願いしておこなっています（コロナ禍になり実施できていません）全ての職員を対象と考えたとまだ課題があります。			急変時の連絡先がきちんとされており、管理者が不在でも対応が出来る体制づくりがあれば良い。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を実施しています。近隣の介護施設と災害協定を結んでいます。BCPを作成しました。	BCPを作成して実際に活用できるものとなっていることが重要	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCPの更新、改善は継続的におこなっていく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりにそれぞれの人生があり、考え方、価値観が違うことを理解し、個人の尺度で相手に自分の考えを押し付け、判断しないように注意しています。そのためには認知症の理解が必須です。様々なケースがあり、職員にも個性があり、管理者は常に第三者目線で現場を見ることを心掛けています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に対する言葉遣いには注意が必要。不快感を与えてしまうような言葉が出てしまうことがあります。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の暮らしのペースを尊重したケアに努めています。反面、シフトの都合、職員の力量によりご利用者さまの意向に沿えないこともあります。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に応じて家事参加して頂いています。食べることは楽しみです。だからこそ、施設で調理をして提供することにこだわっています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ただ食べるだけではなく、調理から関わることやイベントとして提供することは、食事に対する楽しみや意欲向上に繋がります。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事・水分の摂取量を把握し健康管理をおこなっています。食べ物の好み、食事形態、排泄状況など個々の状況に応じた支援をおこなっています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日、口腔ケアをおこなっています。必要に応じて訪問歯科医に来て頂き、義歯の調整、指導、治療をおこなって頂いています。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の排泄状況を把握し、トイレ誘導、おむつ交換と排泄ケアをおこなっています。特に便秘については医師と相談して改善に努めます。また、おむつの料金負担軽減のため本人の状態にあったモノを選択するための意見交換、実証確認など工夫をしています。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	曜日、時間帯は決まっています。本人の希望により日にちをずらすことはあります。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	早起きする人、昼寝をする人、夜間活動する人とあり、それぞれの生活習慣を尊重しています。また、体調に配慮して休息をすすめることもあります。眠い時に眠れることが一番良いです。			利用者より夜更かしをしたい、まだ眠くないと言われる時もあります。その時の状況や職員のゆとりにより要望に沿えないことはあります。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	どのような薬を服用しているかはある程度把握しています。処方内容が変わる時は申し送りをおこなっています。薬剤師と連携して薬の形態(錠剤・粉末)を選択しています。新しく処方される時や変更が		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	充分に注意をしても服薬ミス(きちんと飲み込めていなかった、薬が床に落ちていた)はあります。これをゼロにすることはなかなか難しい。

				<p>ある時は経過を医師等に報告しています。</p> <p>服薬支援では複数で薬を確認し、本人が薬を飲み込むまでを確認する支援をおこなっています。</p>			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>③. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>洗濯物を畳む、おしぼりの準備をする、配膳を手伝うなど本人の能力を活かした役割があります。また、カラオケ、散歩、ドライブに出かけることは気分転換となり喜ばれます。個々の状況によりですが、お買い物に出かけ自身の嗜好品を購入して楽しまれている人もいます。</p>	可能な限り努めていますが、満足度をはかることは難しいし、工夫や改善の余地があるとする方が良いと考えています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>③. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>散歩、ドライブに出かける機会があります。また、個々の能力、状況によりお買い物に出かけたり、自宅の様子を見に行ったり、地域の人達の協力により地域行事に参加することがあります。地域の催し物(盆梅展、バラ園、道の駅でのイベントなど)に出かけることも喜ばれます。</p>	日々のケアに追われ気づいたら一日が終わっていたなんてことはあります。外出支援は意識して取り組む必要があり、日頃より機会を伺い、積極的な支援を心がけています。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>③. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>お金の認識が出来、ある程度の管理がおこなえる人は所持されています。お店に行つて自分で会計まで出来る人は現在1人しかおりませんが、支援があれば使えるという人は3人いらっしゃいます。但し、どの人も本人任せで買い物に行くと、際限なく使ってしまうことが大いにあり、注意する必要があります。財布にお金がなくなっても銀行にはまだたくさんあるという大雑把な感覚の人が多いです。</p>			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	本人・家族の要望に応じて手紙や電話でのやりとりが出来るように支援しています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>バリアフリーになっています。人と人との距離が近く、孤独を感じさせない空間になっています。反面、距離が近いことによる人間関係のわずらわしさもあります。そこは職員が介入してクッションの役割をします。狭い建物ですが、ひとりで落ち着ける場所を持つることに配慮しています。</p> <p>各棟のホールのソファは各々が暗黙のうちに座る場所が決まっています。摩擦が起きないように配慮して誘導をしています。</p>	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	建物の構造的な面でメリット、デメリットはあります。限られたスペースの中で工夫をしています。	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>本音は自分の家に帰りたい、家族と一緒に過ごしたいと思っているでしょう。それが難しいことだと感じ、自分の気持ちに折り合いをつけて暮らしています。</p> <p>そのような気持ちを一瞬でも紛らすことが出来るように関わり支援をしています。</p>			<p>自分の家とは違う施設とはそういう所ではないか…だからこそ職員は専門職として何が出来るか、どういうことに配慮が必要かを考える必要があります。</p>
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	本人・家族等から得た情報を関係者と共有してケアに活かしています。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>医療機関と連携して訪問医療・訪問看護をおこない、緊急時の対応についても連携しています。</p> <p>週1回の訪問看護では看護師が一人ひとり丁寧にケアをしてくれています。</p> <p>また、個々が抱える転倒リスク、排泄障害、BPSD等に対して介護士は日々の変化に応じた対応をおこなっています。</p>		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>週3回、医療職が訪問診療、訪問看護で施設を訪れています。また、急変時の対応は休日等の関係なく対応して頂いています。</p> <p>他、地域の病院、精神科病院、歯科と連携をしています。</p>
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>一日の日課はありますが、ある程度はご自分の時間でそれぞれのペースで生活されているように思います。</p>			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>家族との写真や使い慣れたモノ、化粧品などを自室に持ち込まれています。</p>		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>可能な範囲で対応されているのではないかと</p>
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>本人の希望で外出することはあります。自宅へ行く、床屋、買い物、地域行事参加などに出かけています。施設側の職員体制によっては意向に沿えないことがあります。概ね実現出来ているのはグループホームというサービスの特性だと思います。</p>	<p>できる限り対応されているように見えます。</p>		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<p>本人の出来ること、出来ないことを見極め、役割を持ち生き活きとする人、レクリエーション活動を楽しむ人、食べることを頑張る人など個々の特性に合わせた支援をおこなっています。</p>			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どこまで満足した生活を送れているかは図れないですが、単調な毎日とならず、変化があり笑顔があり楽しい日々が送れるような支援に努めています。 本人が思いや主張を私達に言える関係づくりが大切だと思っています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いきいきとした生活を送って頂きたいと思う職員側の気持ちが大切なのではないか
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅を訪れ近隣の人達と挨拶を交わす、檀家のお寺行事に参加し旧友達との会話を楽しむ、行きつけのお店に行き買い物を楽しむことはあります。本人の能力次第という面があります。	地域に開かれた施設はあるのだろうか。なかなか難しいのではないか。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんの笑顔から安心の日々、楽しい日々を送れていると感じています。そのような生活を実現できるように職員は努めています。	アットホームで和気あいあいとしているように感じています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価作成日：2022年6月21日

外部評価実施日

2022年10月14日 14:00～17:00

参加者

揖斐広域連合 介護保険課：中川正志

揖斐川町役場 住民福祉部 健康福祉課：足立茉莉

揖斐川町民生児童委員：長柄享子

グループホームひまわり：田中宏英

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	BCP(業務継続計画 災害編、感染症対策編)は作成出来ていますが、実際に活用出来ているのか。活用できるものになっているのか？	BCPをより実践に即したものに修正して実用性を上げていく	定期的にBCPの内容を見直します(年2回)	12か月
2	3	運営推進会議に参加するメンバーを増やせるのではないかな	運営推進会議に参加するメンバーを増やす	駐在所の警察官に参加の依頼をしてみる	6か月
3	5	言葉による拘束「スピーチロック」は、介護をする中でつい出てしまったということがあります。	スピーチロックに対する意識を高め、より良いケアを目指す	スピーチロックとは？(拘束とは？)学ぶ機会を定期的に持ち(年2回)改善に努めます	12か月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。